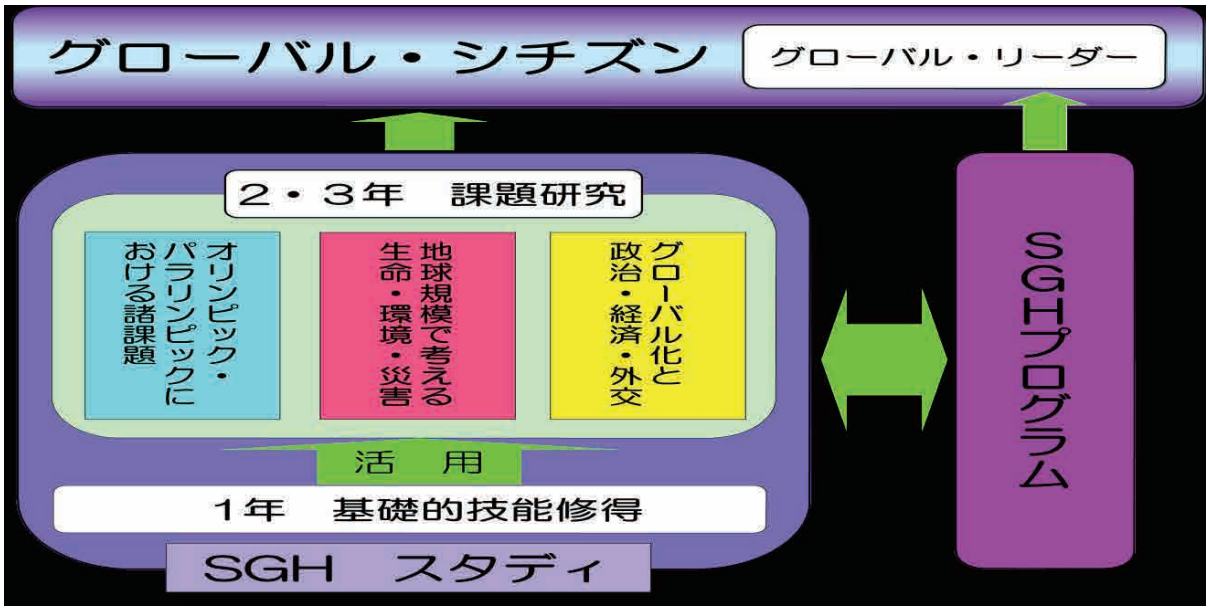
筑波大学附属高等学校

小・中・高・大が連携した
課題解決によるグローバル人材の育成

【構想の概要】

全校生徒を対象とする。「SGH スタディ（課題解決学習）」と「SGH プログラム（海外派遣）」を２本柱とし、前者はグローバル・シチズンの育成を、後者は意欲的な生徒を対象に、グローバル・リーダーの育成を目指す。

毎週土曜日を授業日とし、１学年は課題解決の為のスキルや知識を学ぶ授業を全員に課し、2，３学年では、得たスキルを使って、グループで課題研究に取り組み、解決法などを発表・提案する。海外派遣に於いては多数のプログラムを用意し、帰国後全生徒に還元できる仕組みを作る。



【教育課程】

1年	国語総合 4	古典 2	世界史A 2	地理A 2	数学Ⅰ 3	数学A 2	生物基礎 3	体育 3	保健 1	芸術Ⅰ 2	コミュニケーション英語Ⅰ 3	英語表現Ⅰ 2	情報の科学 2	総合的な学習（SGH） 1	ホームルーム 1	
	計32単位（除ホームルーム）															
2年	現代文B 2	古典B 2	日本史A 2	倫理 2	数学Ⅱ 3	数学B 2	化学基礎 3	物理基礎 3 / 地学基礎 3 / 必修選択	体育 2	保健 1	芸術Ⅱ 2	コミュニケーション英語Ⅱ 3	英語表現Ⅱ 2	家庭基礎 2	総合的な学習（SGH） 1	ホームルーム 1	第二外国語 独語・仏語・中国語 2
	必29＋必選3（＊第二外国語は枠外）計32単位（除ホームルーム）															
3年	政治・経済 2	体育 2	コミュニケーション英語Ⅲ 3	英語表現Ⅱ 2	現代文B 3 ＋ 古典B 3 / 古典B 4 / 数学Ⅲ 4 / 必修選択	現代文B 2	古典B 2・4	世界史B 4	日本史B 4	世界地理 2	総合社会 2	数学Ⅱ 2	数学Ⅲ 2	物理 4	化学 4	生物 4
						自由選択（14単位まで）										
3年	生物特講 2	地学 4	地学特講 2	芸術Ⅲ 2	クラフトデザイン 2	オーディオビジュアル 2	フードデザイン 2	第二外国語 2	総合的な学習（SGH） 1	ホームルーム 1						
	3年次は、必修11＋必修選択4＋自由選択（4～14）（＊第二外国語は選択内）（除ホームルーム）															

※教育・研究上の都合により変更する場合があります。

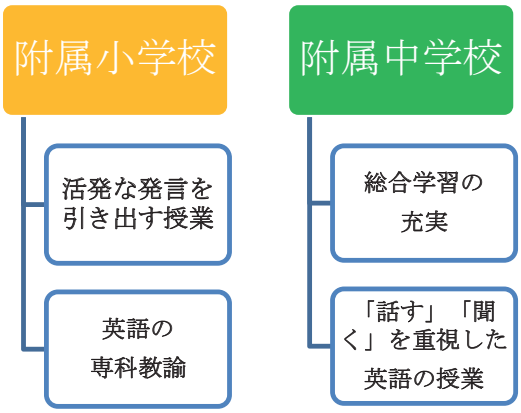
SGH を通して伸ばしたい力

(1) 専門性と教養
(2) 問題解決力
(3) コミュニケーション能力と
プレゼンテーション能力
(4) 主体性と協調性
(5) 異文化理解の柔軟性と
日本人としてのアイデンティティ
(6) 高い語学力　(7) 議論する力
(8) 地球規模の視点

2 本の柱の相互作用

海外派遣は、課題研究をすることが主となる。帰国後は校内での報告会などを通じて、他の生徒への還元を義務付けている。

附属小・中学校の教育の伝統



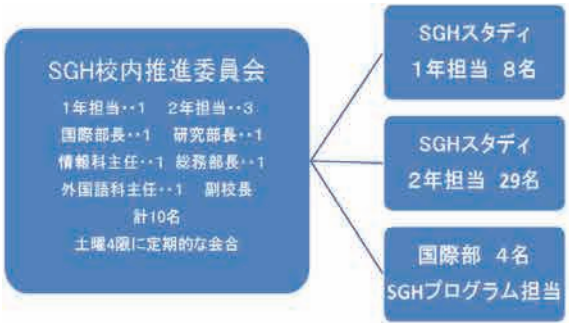
本校は附属小・中との一貫教育ではないが、それぞれの出身者が三分の一ずつ在籍している。附属小・中・高・大での共同研究は「グローバル」である。

本校の過去の取り組み

1964～1974	・基礎科学講座
1975～数年	・月曜スタディ（必修クラブ）
2005～2009	・金曜スタディ　（総合学習・3年生）

長い歴史の中で、過去にも様々な課題研究授業が行われてきた。これらは何れも、授業に組み込まれて行われている。

全教員で関わる体制



※コーディネーター２名・指導助言者１名

全生徒及び全教員で関わる SGH として、教員の組織も「SGH 校内推進委員会」が中心となり、リードしている。週に１回、土曜日の SGH が終了後直ぐに定期的に会合を持ち全体像の把握に勤め、また、進捗状況の全教員での把握は、校内研究会、職員会議で都度行い、より良い取り組みを目指している。

「SGH スタディ（課題研究）」に関しては、１学年担当、２学年担当の横の連絡を密にし、毎週土曜日の内容確認を行いながら進めている。

「SGH プログラム（海外派遣）」は分掌としての国際部が主に進める。多数ある海外派遣の引率に関しては、教員の負担の公平性を重視し、希望以外は様々な配慮をしながら引率教員を決定し、管理職が委嘱する。海外派遣への生徒の希望が年々増加しており、その選考案の立案も国際部で行っている。

「SGH スタディ（課題解決学習）」

全生徒対象に、毎週土曜日「SGH」授業として実施

(1)　第１学年

【目標】

2、3 年次のＳＧＨスタディにおいて、原則としてグループでグローバルな課題を発見し、課題に関する調査・研究を行っている。議論をし、解決法を発表・提案。1 年のＳＧＨスタディではその為の準備として、8 つの講座において、調査・研究で必要となるスキルや知識を獲得することを目標としている。

【概要】

☞　毎週土曜日 3 時間目に実施

☞　各ＨＲ教室、図書室、情報教室、物理実験室等

☞　3 時間×8 講座 ＋ 1 時間（オリエンテーション）　計 25 時間

【講座一覧】

講座	講座名	担当教諭
①	さまざまな情報収集の仕方・考え方	中村　光貴（地理歴史科）
②	プレゼンテーションとその準備	山田　剛（生物科）
③	グループでのアイデア発想	和田　肇（美術科）
④	アカデミック・ライティング入門	大内　康宏（国語科）
⑤	科学の考え方	小澤　啓（物理科）
⑥	統計的な物の見方・考え方	矢野　一幸（数学科）
⑦	データの収集	速水　高志（情報科）
⑧	データの分析	山田　研也（数学科）

【年間計画】（平成 28 年度 1 組の例　1 学年 6 学級）

4/16　オリエンテーション

ターム 1：4/23 ,30, 5/7 ④アカデミック・ライティング入門

ターム 2：5/14 ,21 ,28 ③グループでのアイデア発想

ターム 3：6/11 ,7/2 ,9 ①さまざまな情報収集の仕方考え方

ターム 4：9/3 , 17 ,24　⑤科学の考え方

ターム 5：10/22, 29,11/5 ②プレゼンテーションとその準備

ターム 6：11/12 ,19 ,12/10 ⑥統計的な物の見方・考え方

ターム 7：1/14, 21, 28　　⑦データの収集

ターム 8：2/4, 18 , 25　　⑧データの分析

※担当教員は、希望をして講座を開設。

(2)　第 2，3 学年

グループで、グローバルな課題を発見。課題に関する調査・研究を行い、議論をし解決法を発表・提案。

第 1 分野　オリンピック・パラリンピックにおける諸課題（筑波大学の重点との関係）

第 2 分野　地球規模で考える生命・環境・災害

第 3 分野　グローバル化と政治・経済・外交

【概要】

☞　毎週土曜日 3 時間目に実施（2 年）

☞　毎週土曜日 3・4 時間目に実施（3 年）

【流れ】

①　オリエンテーション

②　SGH スタディのヒント（教員によるミニ講座）

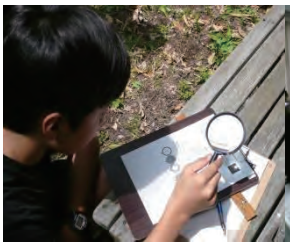
③　研究グループ作り　→　研究活動

④　中間報告会（2 年 1 月）

⑤　最終発表会（3 年 7 月）

⑥　優秀研究発表会（3 年 9 月）

1 年科学の考え方　　1 年データの分析



2 年グループ研究　　3 年優秀研究発表会

(3)　優秀研究校内表彰（28 年度の例）

最優秀賞（グランプリ）	2108「文京区ハザードマップを改善せよ」
優秀賞	1004「東京オリンピックを見据えたインフォメーションアプリの開発」
同	3307「日本に対するイメージを元に日本の良さを伝える」
同	3106「性教育から考える同性愛への認識」
優良賞	1011「オリンピズムの具現化」
同	2201「ゲル法によるカルサイト作成」
同	2204「防災教育のあるべき姿」
同	2304「周囲の色の変化による映像への没入感の違い」
同	3205「コンビニの海外進出促進のための『観光コンビニ』戦略」
同	3401「日本人の宗教観」
優秀賞（文献調査部門）	2210「放射線と人類及び生態系」
同	3306「和紙の可能性」
優秀賞（フィールドワーク／実験部門）	2101「震災時における鉄道復旧のあり方」
優秀賞（プレゼンテーション部門）	3203「アジアにおける外食産業の海外進出の際の経営方針」
敢闘賞（日常的な研究活動に対して）	1005「シッティングバレーを広めたい」
同	2211「プラスチックが人間に与える影響」
同	3405「ユダヤ人はアイデンティティーを失いつつあるのか」

※ 9月17日には、3学年「優秀研究発表会・表彰式」を学年で行い、SGH指導委員の先生方にご批評をいただきます。

また、2学年「SGH」の時間にも、優秀研究の発表を聞く機会を設けます。

「SGH プログラム（海外派遣）」

（1）海外派遣実施概要

◎「日中高校生交流」（イオン 1%クラブ主催）

・1，2 学年　10 ～ 20 名
（相互交流・一部相互ホームステイ）
・選考：ホームステイ受け入れ可が優先
・訪日：7 月初旬　8 日間
・訪中：10 月初旬　8 日間
・費用：イオン 1%クラブがすべて負担

◎「アジア太平洋青少年リーダーズサミット」

・2 学年　3 名　　**（シンガポール）**
・選考：大学教授による英語ディスカッション
及び教育長面接。GTEC スコア。
（英語レベル　高）
・7 月下旬　10 日間
・費用：生徒負担　約 12 万円

◎国際学術シンポジウム　（韓国）

・2 学年　3 名
・選考：大学教授による英語ディスカッション
及び教育長面接。GTEC スコア。
（英語レベル　高）
・7 月下旬　5 日間
・費用：生徒負担　約 6 万円

◎プリンスエドワードアイランド大学研修（カナダ）

・1，2 学年　16 名
・選考：GTEC スコア参考（英語レベル中）
・8 月下旬 2 週間
・費用：生徒負担　約 50 万円

◎HWA　CHONG 校との短期留学（シンガポール）

・1，2 学年　7 名　附属中学生　2 名
（相互交流・相互ホームステイ）
・選考：ホームステイ受け入れ可が優先
・訪日：5 月下旬　10 日間
・訪シ：3 月下旬　10 日間
・費用：生徒負担　約 12 万円

◎ UBC グローバルリーダーズプログラム
（筑波大学附属学校教育局主催・カナダ）

・選考：附属学校教育局による（英語レベル　高）
・7 ～ 8 月 2 週間 2 期　　・費用：約 60 万円

◎クーベルタン・ユースフォーラム（世界各地）

・2，3 学年　3 名程度
・「クーベルタンスクール」が主催する隔年に 1 度の国際フォーラム。世界から 120 名程が参加。
・隔年 8 月下旬～
・費用：筑波大学が渡航費を負担
国際ピエール・ド・クーベルタン委員会が
宿泊費、食費を負担。

（2）学校訪問受け入れ他

日常的に海外から多くの授業参観がある

（3）海外派遣報告会

①　学年集会での報告

②　文化祭での報告

「SGH 活動の効果測定ツール開発」

・平成 29 年度アセスメントツールを開発して実施。